

※本発表は2020年9月17日に発表したプレスリリースの抄訳です。



SWIFT、資金決済および証券業務を、より迅速でフリクションレスに処理するための戦略を発表

- ・ エンドツーエンドの透明性と予測可能性を備えた世界中の口座間のシームレスな取引を可能にする
- ・ レジリエンスとセキュリティに重点を置いた SWIFT の次世代デジタルプラットフォームを通じて提供

2020年9月17日、ブリュッセル

SWIFT は本日、理事会によって承認された新しい戦略のひとつとして、世界中の金融機関が迅速でフリクションレスなエンドツーエンド取引ができるよう、今後 2 年間およびその後にはわたって、資金決済と証券プロセスを抜本的に改革し、クロスボーダー決済のインフラストラクチャを再編することを発表しました。

SWIFT は金融メッセージングを提供するにとどまらず、包括的な取引管理（トランザクションマネジメント）サービスを提供します。この新しいアプローチは、イノベーションを支援・加速し、SWIFT 単独で、またはフィンテック企業と協業して、金融機関の業務発展を支え、金融機関が新しい付加価値サービスを創造する道を拓きます。資金決済においては、金融機関は企業や消費者へのサービスの範囲を拡大し、エンドユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。証券分野においては、照査、レポート作成、アセットサービスプロセスの改善、およびエンドツーエンド取引の可視化により、決済のフェイルやペナルティを削減するメリットがあります。

この新たなプラットフォームは、金融機関と他の参加者との間の相互のやり取りを最適化し、フリクションを最小限に抑え、処理時間を最小化し、エンドツーエンドの透明性と予測可能性を、世界中のどこにでも提供します。これにより、SWIFT ネットワークを通じて金融機関がサービスを提供する少なくとも 40 億にもものぼる口座間の迅速でフリクションレスな取引が一層強化されることが期待されます。次世代デジタルプラットフォームは、API とクラウド技術を利用して、銀行が過去に個別に投資してきた共通した一連のサービスを提供し、時間と費用の節約に寄与します。新たな広範なデータ機能により、主要なデータの事前検証、不正検知、データ分析、取引トラッキング、例外ケースのマネジメントが可能になります。

SWIFT の最高経営責任者（CEO）であるハビエル・ロペス・タッソ（Javier Pérez-Tasso）は次のように述べています。「金融機関がエンドツーエンド取引をより迅速に処理するための基盤となるインフラストラクチャを革新すると同時に、サイバーセキュリティ、詐欺行為への対策、コンプライアンス分野における業界共通のサービスを通じて、コミュニティのコストをさらに削減していきます。SWIFT が予測するリスクとコントロール要件に対応したデータイノベーションを実施し、クリティカルな業務の運用に安心感をもたらします。これらの要素を組み合わせ、より高速なテクノロジーとよりスマートで優れたサービスを備えた幅広いプラットフォームを構築します。このプラットフォームは業界が自社の取引先に向けたイノベーションの基盤として信頼のおけるものとなります。」

新プラットフォームの機能は、クロスボーダー決済基準とも言える SWIFT gpi を含んだ SWIFT の変革イニシアチブの成功例に基づいており、200 カ国・地域における 11,000 以上の金融機関に広がる協調的な成果を活用しています。これらは、レジリエントで安全な取引を確保するために、サイバーセキュリティとリスクマネジメントに対する SWIFT の継続的な投資によって強化されます。後方互換性があるため、ユーザーは、業務の中断を最小限に抑えながら、この機能を利用できます。

SWIFT の会長であるヤワル・シャー (Yawar Shah) は次のように述べています。「今後 2 年間にわたって、資金決済や証券取引の処理方法を根本的に改革し、フリクションを取り除き、処理時間、品質、確実性を向上させていきます。SWIFT は、銀行と市場インフラをその戦略の中心に置き、従来から実績のあるタイムリーな実装、リスク管理、グローバル展開を強化し、この変革を加速していきます。グローバル規模の銀行コミュニティ全体を代表する理事会は、この方針を支持しました。これは、規模や地域に関係なくすべての顧客層に対応し、後方互換性を活かした柔軟な導入計画の実現を可能にするものです。」

この新しい戦略は、すでに金融サービス業界全体から幅広い支持を受けています。